

環境経営レポート

2023年度

(対象期間: 2023年2月1日～2024年1月31日)



発行日: 2024年3月31日

C.S.S.株式会社

1.組織の概要

1)事業所名及び代表社名

C.S.S.株式会社

代表取締役社長 若山 満

2)本社・工場所在地

本 社 〒152-0031 東京都目黒区鷹番1-1-12

渋川工場 〒377-0005 群馬県渋川市有馬2494-195

3)環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者 技術部 部長 若山 裕二

担当者 製造部 係長 杜 永寛

連絡先 0279-25-8066

Email s-gyoumu@css-w.co.jp

4)事業内容

表面処理及び関連業務

5)事業規模

	単位	工場
売上高	百万	392
従業員数	人	36
床面積	m ²	3,779

6)事業年度

2023年2月～2024年1月

7)対象範囲

C.S.S.株式会社 渋川工場 全活動・組織

2.環境経営方針

[基本理念]

地球環境に配慮した事業活動と製品の提供を目指して
あらゆる製造課程において地球環境の保全を人類共通の
最重要テーマと認識し、全社員一丸となって
環境負荷の低減を目指します。

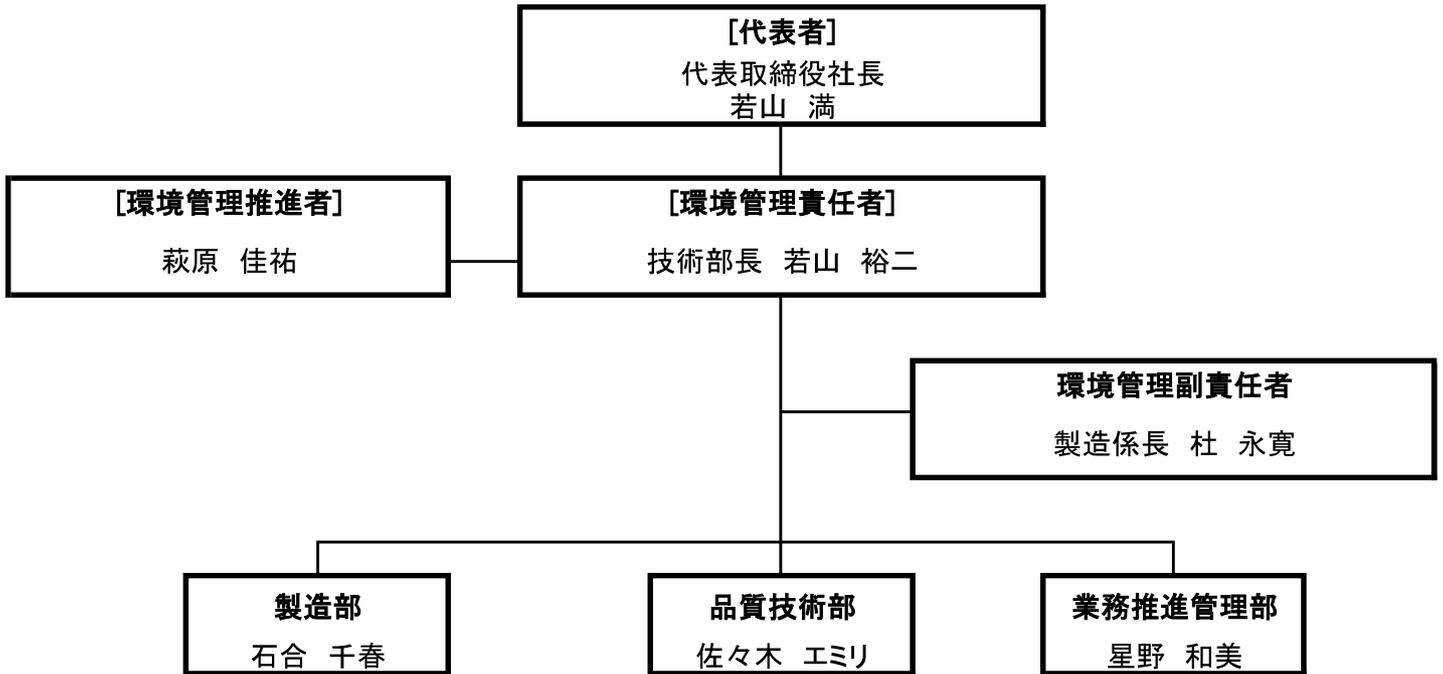
[基本方針]

私たちは金属表面処理の分野を通じて
常に最高の品質を目指したモノづくりと人材育成を通して
地域社会の発展に貢献する為、
以下に主な活動項目を掲げ取り組みます。

1. 当社事業に関わる環境関連法規及びその他の環境関連の
要求などを明確にし、遵守します。
2. 事業活動における省エネルギー、省資源、リサイクルの推進に
積極的に取り組み、環境負荷の低減に努めます。
3. 環境経営の継続的改善に努めます。
4. 全社員に環境保全に関する教育を行い、環境に対する理解と意識の向上を図ります。
5. この環境方針は、環境教育や広報活動を通じて、全社員に周知するとともに、社内外
に公表し地域社会とのコミュニケーションを図ってまいります。

制定日 2020年8月26日
C.S.S.株式会社
代表取締役 社長 若山 満

3.推進体制図



各自の役割・責任及び権限

- ① 社長
 - 環境経営システムの構築と管理、マニュアルの制定及び承認
 - 環境方針・目標の策定及び見直し
 - 環境活動計画の承認
 - 環境経営システムの構築・運用・維持に必要な資源の提供
 - 緊急事態発生時の統括
 - EA21全体の取り組み状況に関し評価、見直しを実施する
 - 当社における課題とチャンスを確認にする
- ② 環境管理責任者
 - 環境経営システムの維持管理
 - 環境法規等の把握及び見直し
- 環境管理推進者
 - 環境活動計画の推進と実行及び計画の策定
 - 環境教育の実施と統括
 - 環境経営システムの見直しと達成項目の報告
- ③ 業務推進管理部
 - 環境データの集計、取りまとめ
 - 環境関連文書及び記録の管理
 - 環境関連外部とのコミュニケーション窓口
- ④ 各部門管理者
 - 自部門の環境活動の管理
 - 実施教育・訓練・教育の計画、実施
 - 環境連絡の周知及び連絡
 - 環境法規等の把握及び遵守

4.目標と実績・評価

	2022年度	2023年度		
	基準	目標	実績	評価
二酸化炭素排出量の削減	822762.5 kg-CO ₂	1%削減 814534.8 kg-CO ₂	785712.8 kg-CO ₂	○
電力使用量の削減	1060628 kwh	1%削減 1050021.7 kwh	932798 kwh	○
軽油使用量の削減	18892 ℓ	1%削減 18703 ℓ	18504.8 ℓ	○
LPG使用量の削減	110871.7 kg	1%削減 109763 kg	117023.2 kg	×
一般廃棄物排出量の把握	891.9 kg	1%削減 883 kg	948.35 kg	×
産業廃棄物排出量の削減	138146.4 kg	1%削減 136764.9 kg	109771.4 kg	○
水使用量の削減	50821m ³	1%削減 50312.8 m ³	41388 m ³	○
化学物質の適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	○
返品伝票数の低減	212枚	180枚	50枚	○
不要パレットの返却	使用必要枚	使用必要枚数	不要0枚	○

*排出係数は、2018年度版の日本テクノ株の調整後排出係数0.411kg-CO₂を使用した。

5.環境経営目標

環境経営目標	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
	基準年度	基準年度比目標	基準年度比目標	基準年度比目標
二酸化炭素の排出量の削減	822762.5 kg-CO ₂	1%削減 814534.8 kg-CO ₂	1.5%削減 810462.1 KG-CO2	2%削減 806307.3 kg-CO ₂
電力使用量の削減	1060628 kwh	1%削減 1050021.7 kwh	0.5%削減 1,044,771.6 kwh	2%削減 1039415.4 kwh
軽油使用量の削減	18892 ℓ	1%削減 18703 ℓ	0.5%削減 18609 ℓ	2%削減 18514.16 ℓ
LPG使用量の削減	110871.7 kg	1%削減 109763 kg	0.5%削減 109,214 kg	2%削減 108654.3 kg
一般廃棄物排出量の削減	891.9 kg	1%削減 883 kg	0.5%削減 878 kg	2%削減 874 kg
産業廃棄物排出量の削減	138146.4 kg	1%削減 136764.9 kg	0.5%削減 136,081.1 kg	2%削減 135383.4 kg
水使用量の削減	50821 m ³	1%削減 50312.8 m ³	0.5%削減 50,061.2 m ³	2%削減 49804.6 m ³
化学物質の適正管理	適正使用	適正使用	適正使用	適正使用
返品伝票数の低減	212枚	180枚	130枚	80枚

*排出係数は、2018年度版の日本テクノ(株)の調整後排出係数0.411kg-CO₂/kwhを使用した。

*年度表記は、2月～1月の会計年度を使用した。

6.環境経営目標の取組と評価

環境経営目標	環境経営目標の取組結果と評価
<p>電力使用量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・待機電力カット ・待機電力カットエアコン温度設定最適化 ・不在エリアの消灯 	<ul style="list-style-type: none"> ・空調温度設定を夏季28度、冬季22度に設定した。 ・OA機器を省電力設定にした。 ・業務用エレベーターの使用回数の低減。 ・コンプレッサーの夜間電源をOFFにした。 <p>・今後の取組 排水処理設備の曝気槽エアーの運転停止時間を検討する。 今期同様に省エネ運動の維持。</p>
<p>自動車燃料の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップの励行 ・急発進・急停止の防止 ・輸送経路の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの周知徹底をした。 ・タイヤの空気圧を定期的に測定した。 ・ムダのない配送ルートを検討した。 <p>・今後の取組 ロジスティクスの見直し</p>
<p>LPG使用量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配管の点検 ・使用時のみスイッチを入れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用していない場所の蒸気バルブを止める。 ・蒸気漏れなどが無いのか、配管など点検した。 ・ボイラーの燃焼効率を上げる為にスケール除去及びドレン水の活用ができるようにした。 <p>・今後の取組 2台あるボイラーの稼働を、ムダの無い様に運転方法にする。</p>
<p>一般廃棄物排出量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物排出量の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・分別管理に取り組んだ。 ・コピーの裏紙使用を励行した。 ・金属廃棄物を種別に分別した。 <p>・今後の取組 廃棄物が出る場所の実態調査を行う。</p>
<p>産業廃棄物排出量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック製品の使用量を減らす 	<ul style="list-style-type: none"> ・梱包ラップの使用を減らし、PPバンドを活用する。 <p>・今後の取組 物流ドライブと工夫をする。 廃棄物が出る場所の実態調査を行う。</p>
<p>水使用量の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水漏れチェック ・節水活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・節水表示をした。(使用量の見える化) ・メーターの確認をした。 ・水漏れがないか点検をした。 ・常時流れる箇所の給水量の確認。(給水量が適切化を確認) <p>・今後の取組 手動の使用バルブを二重にする。 給水時にはその場を離れないことの徹底を行う。</p>
<p>化学物質の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDSでの化学物質の把握 ・化学物質使用量把握 ・使用量リストの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDSを取寄せ調査した。 ・使用している化学物質を把握した。 ・SDSの変化の監視。 <p>・今後の取組 漏れが無いよう現状を維持する。</p>
<p>返品伝票数の低減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工程確認徹底 ・品質会議の開催 ・件数の集計 	<ul style="list-style-type: none"> ・品質会議を開催し原因調査した。 ・工程確認を徹底した。 ・不良率の低減とQC工程の見直し。 <p>・今後の取組 週一回品質会議を行う。</p>
<p>顧客指定及び法令に関わる環境負荷化学物質確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷物質の調査 処理皮膜含有調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用薬品成分調査 ・Ver2 ChemSHERPA による調査 <p>* 指定される環境負荷物質の含有は無いことを確認。届け出先から問題は無いことを確認。</p>
<p>紛争鉱物調査 3TG</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「紛争鉱物(conflict Mineral)」の調査を行い、武装勢力の資金源、及び児童労働に関与していない金属原料の使用を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・CMRT: Conflict Mineral Reporting)作成及び顧客への提出。 * 実施確認済み。CMRTレポート
<p>化学物質PFOS及びPFOAの調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PFOS及びPFOA使用状況の調査・確認を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼時の教育で、PFOS及びPFOAの簡単な説明を実施。 ・2度の技術報告書(環境)により調査・分析・状態把握などを行った。 ・教育のため、技術報告書(環境)の一定期間掲示を行った。

7.環境関連法規などの遵守の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

適用される主な環境関連法規

適用環境関連法規等	適用される事項(施設、物質、事業活動)	遵守状況
騒音・振動規制法	特定施設の届け出	遵守
毒物及び劇物取締法	塩酸、硫酸、硝酸、クロム酸、苛性ソーダの 適正保管(表示、漏洩防止)	遵守
廃棄物処理法	産業廃棄物の表示、マニフェスト管理	遵守
浄化槽法	浄化槽定期検査(11条検査)	遵守
水質汚濁防止法	排水水質検査、特定施設の届出	遵守
PRTR法	使用量の年次報告	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は、遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日 2024年1月30日

・実施活動の不十分が見える。そのため組織替えを視野に入れ、活動内容の見直しを行い環境活動に取り組んで行く。

・電気、ガス、水、ゴミ、廃棄物等について、分析が不十分である事から、事象に対する分析を行い次へつなげるようにする。

良い点として紛争鉱物3TGに対する取り組みは、SDG'Sに繋がる取組として今後も監視して行きたい。

また、REACH規制、PFOS、PFOAなどのEUなどの規制・法令(国内を含む)には情報の取得を意識し、必要ならば今期行ったPFOS、PFOAなどのように技術調査を行う必要がある。

環境経営方針 変更なし 変更あり

環境経営目標・計画 変更なし 変更あり

実施体制 変更なし 変更あり

8. 2023年度環境経営計画・実施状況評価

作成日2023年1月31日
確認日2024年1月26日

承認	作成
若山	杜

活動期間:2023年2月~2024年1月 評価 □:計画 ■:実施 ○:達成 ×:未達成

No.	基準年度 (2022年度)	年度目標 (2023年度)	年度目標 (2025年度)	施策	項目	2023年度				合計
						2~4月	5~7月	8~10月	11~1月	
1	二酸化炭素の排出量の削減 822762.5 kg-CO ₂	1%削減 814534.8 kg-CO ₂	2%削減 806307.3 kg-CO ₂	・電力、化石燃料使用量の削減 目標排出量 814534.8kg-CO ₂ 実績排出量 kg-CO ₂	取組内容	■	■	■	■	814534.8
					取組内容	203633.7 217142.8	203633.7 183044.4	203633.7 185940.6	203633.7 199585	785712.8
2	電力使用量の削減 1060628 kwh	1%削減 1050021.7 kwh	2%削減 1039415.4 kwh	・待機電力カット(PC,OA機器) ・不要場所の消灯 ・エアコン温度設定最適化 ・工作機械の節電、管理 目標電力使用量 1050021.7kwh 実績電力使用量 kwh	取組内容	■	■	■	■	1050021
					取組内容	262505.4 250579	262505.4 221335	262505.4 231494	262505.4 229390	932798
3	軽油使用量の削減 18892 ℓ	1%削減 18703 ℓ	2%削減 18514.16 ℓ	・アイドリングストップの励行 ・急発進・急停止の防止 ・輸送経路の改善 目標燃費使用量 18703ℓ 実績燃費使用量 ℓ	取組内容	■	■	■	■	18703
					取組内容	4675.75 5558.39	4675.75 5102.2	4675.75 4056.89	4675.75 3787.32	18504.8
4	LPG使用量の削減 110871.7 kg	1%削減 109763 kg	2%削減 108654.3 kg	・配管の点検 ・使用時のみスイッチを入れる 目標燃費使用量 109763kg 実績燃費使用量 kg	取組内容	■	■	■	■	109763
					取組内容	27440.75 33271.4	27440.75 26304	27440.75 26776.6	27440.75 30671.2	117023.2
5	一般廃棄物排出量の削減 891.9 kg	1%削減 883 kg	2%削減 874 kg	・一般廃棄物排出量の把握 目標排出量883 kg 実績排出量 kg	取組内容	■	■	■	■	883
					取組内容	220.75 268.4	220.75 285.35	220.75 206.2	220.75 188.4	948.35
6	産業廃棄物排出量の削減 138146.4kg	1%削減 136764.9 kg	2%削減 135383.4 kg	・プラスチック排出量を減らす 目標排出量 136764.9kg 実績排出量kg	取組内容	■	■	■	■	136764.9
					取組内容	34191.2 18380	34191.2 35002.4	34191.2 31770	34191.2 24619	109771.4
7	水使用量の削減 50821m ³	1%削減 50312.8 m ³	2%削減 49804.6 m ³	・配管水漏れチェック ・節水活動 目標水使用量 50312.8m ³ 実績水使用量 m ³	取組内容	■	■	■	■	50312.8
					取組内容	25156.4 20436	25156.4 20952	25156.4 20952	25156.4 20952	41388
8	化学物質の適正管理	適正管理	適正管理	・SDSでの化学物質の把握 ・化学物質使用量把握 ・使用量リストの作成	取組内容	■	■	■	■	
					取組内容	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	
9	返品伝票数の低減	把握する	212枚	・件数の集計 目標件数 実際件数	取組内容	212枚から180枚に削減させる取組				把握した50枚
					取組内容	—	—	—	○	
10	顧客指定及び法令に関わる環境負荷化学物質確認	適正管理	適正管理	・使用薬品成分調査 ・Ver2 chemSHERPA による調査	取組内容	指定される環境負荷物質の含有は無いことを確認。届け出先から問題は				環境要求に適合
					取組内容	○	○	○	○	
11	紛争鉱物調査 3TG	適正管理	適正管理	・「紛争鉱物(conflict Mineral)」の調査を行い、武装勢力の資金源、及び児童労働に関与していない金属原料の使用を行う。	取組内容	CMRT: Conflict Mineral Reporting)作				規格に適合
					取組内容	○	○	○	○	
12	化学物質PFOS及びPFOAの調査	適正管理	適正管理	・PFOS及びPFOA使用状況の調査・確認を行う。	取組内容	・朝礼での教育、技術報告書(環境)作成を行い教育の為の掲示				PFOS、PFOAの使用無し
					取組内容	○	—	—	○	
No.	評価・確認 月日	評価・確認者	評価・確認事項(定期、臨時)	評価・確認結果・コメント・是正処置等						
1	2024年1月26日	杜	最終評価	電力使用量は前年度87.9%、 軽油使用量は前年度97.9%、 水使用量は前年度81.4% また、二酸化炭素の排出が前年度(2022年度)の95.5%であり、こちらも目標達成できている結果となった。 この4項目に関しては目標を達成し、削減出来ていることから、引き続き活動をつづけていく。 確認						
2										